

エイトマン ロボット007 光線銃レーザー (1964)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1964/07/21

公開情報 東映

【解説】

『ウルフガイ』『幻魔大戦』で有名な作家・平井和正と、人気劇画家・桑田次郎（二郎）の原作によるSFヒーローアニメの劇場版作品。悪人の凶弾に倒れた警視庁捜査一課の青年刑事・東八郎。彼は、謎の老科学者・谷博士によって高性能スーパーロボットの体に生前の精神を移植され、鋼鉄の男エイトマンとして復活した。普段は東の姿で私立探偵事務所を営みつつ、同時に警視庁の秘密組織・捜査第九課の要員として世界の悪に挑むエイトマン。だがそんな彼の前に、アマルコ共和国のスーパーロボット007が出現。ひそかな因縁で結ばれた強敵を辛くも打倒するエイトマン。しかし今度は、暗黒街への復讐心から強大な光線兵器レーザーを開発した女性科学者・水原博士の事件が……。TV版エピソード第10話と第9話を、その順番で一本に再構成したブローアップ作品。1964年7月の東映のプログラム「まんが大行進」の中で上映。

【クレジット】

演出 大西清
佐々木浩次
企画 三輪俊道
原作 平井和正
桑田次郎
脚本 平井和正
豊田有恒
撮影 柳田久次郎
編集 久保田豊
声の出演 高山栄
上田美由起
田上和枝